

地域住宅生産者グループ No.222

胆江地域型住宅づくり研究会

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
紺碧の家	大船渡市、陸前高田市

グループの特徴とメッセージ

岩手県南を拠点とするグループとして災害復興に団結して取り組み、岩手の力を示したいと思っています。特に「胆江地域材での家づくり」研究会を基本にしてグループ活動を行っており、林業の復興と合わせ、県南地域材での沿岸地方の復旧復興を願うところです。

神々しい厳しい自然と共生するため、新しい住宅仕様を取り入れ受け継がれる技術等グループの結束力で災害復興の一翼を担いたいと思っております。

岩手県は広い面積や森林県と自称しながらもそれら持てる資源を有効に活用されていないので、木材資源の供給復興も合わせて呼びかけていきます。

グループの基本情報

グループ名称	胆江地域型住宅づくり研究会
所在地	岩手県奥州市胆沢区若柳字甘草 203 番地内
結成年月	2012 年 3 月
グループ形態	任意団体
主たる業態	地域型復興支援グループ
グループ構成 ※各事業者名 は別紙	合計 19 社 原木供給 : 1 社 製材 : 2 社 建材流通 : 3 社 プレカット : 1 社 設計 : 2 社 施工 : 10 社
代表者名	小野寺正英(有限会社工務店 おのぞら代表取締役)
主な受賞歴・ 活動内容等	・県南地域振興局林務部内 「胆江地域材での家づく り研究会」にて活動

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1,500～1,900 万円
価格の基準面積	115 m ²
価格に含まない 項目	屋外工事費、外構工事費、 設計料、諸手続費

*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。
詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績（年間）

建設戸数*（木造戸建）	10 戸
うち地域材活用の住宅	5 戸
うち長期優良住宅	
グループとしての 施工実績	なし
グループとしての地域 型住宅の受注可能戸数	5 戸
自由記入欄 （上記以外の実績等）	500 万円以上の大～ 中規模リフォーム工事 を 5 戸程度受注（年 間）

※参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口

担当者名	阿部貴志江	メール	touryou@isis.ocn.ne.jp
電話番号	0197-46-3447	F A X	0197-46-3498
ホームページ	http://www8.ocn.ne.jp/~touryou/konpeki/		
自由記入欄			

地域型復興住宅 紺碧の家

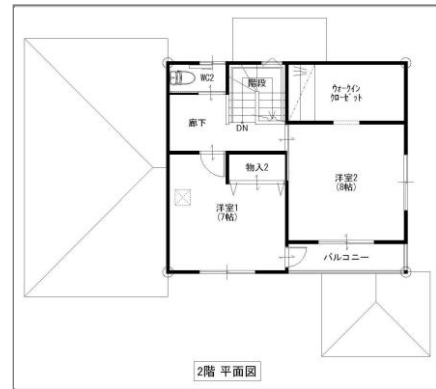
地域型復興住宅のイメージと特徴

■住む人が安心できる懐かしさの家

- ・ 気温の変化に対応した暖かく住みよい家造り
- ・ 耐震性を兼ねた目に見える骨太の地域材の家

■神々しい海と共生した家造り

- ・ 変動する地域で厳しい環境にも対応した外観
- ・ 内部は住む人を安心させる新しさを兼ね備えた造り



代表的事例の概要

構造	木造軸組工法	床面積	1階：72.97 m ² 2階：43.06 m ²
設計	工務店小野寺建築設計事務所	施工	有限会社工務店おのぞら
施工費	2,000万円（設計費用は除く）	備考	オール電化・バリアフリー住宅

設計方法や地域材活用に関する特徴

■地域材の良さの見える設計

- ・夫婦二人、夫婦と子供二人、二世帯同居など様々な家族構成に配慮し、個性を大切に設計が基本です。

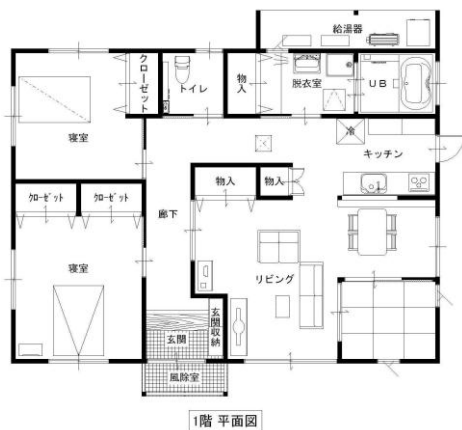
主に活用している地域材について

地域材の名称	主に県南地域材
樹種	杉、栗
産地	岩手県県南地域
認証制度等	岩手県産材認証推進協議会の県産材証明
主に取扱う材種	無垢材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	地域型復興住宅では岩手県産材を90%以上活用した住宅を供給します。

性能・仕様および施工方法等に関する特徴

■外断熱工法、次世代省エネ基準適合住宅

- ・外断熱工法で、建物内部全体（床面から小屋裏面）の温度差がない住宅
- ・耐震性…無垢材の筋違いと面材により耐震性アップ
- ・耐久性…部所毎に樹種を選び100年～200年住宅の耐久性
- ・機器、器具…エコキュート・ヒートポンプ式温水暖房のオール電化住宅
- ・バリアフリー仕様で車イスでも余裕の間取り



地域住宅生産者グループ

胆江地域型住宅づくり研究会

地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

■ 伐季を迎えた県産材、地域材を活用する住宅

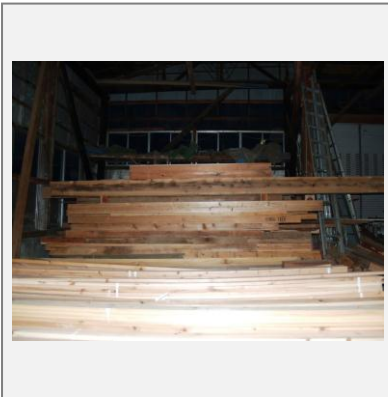
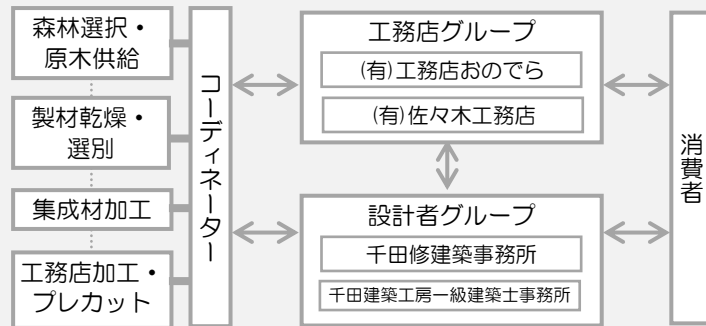
・ 林業家が育成した森林が伐採～製材～販売の流通体制が、高値止りしている。これを是正しなければならないと思っている。

短期的には林業家より出される資材をグループで纏め買ひして価格を抑え復興住宅に活用する。

中期的には戦後植林された人工林が伐季を迎えながら放置されているのが多いので、森林管理署等に放出を動きかけ復興住宅に活用する。



紺碧の家づくりの復興住宅流通ネットワーク体制



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■ 復興住宅と生産者との相談打ち合わせと維持管理の方法（あり方）

・ 施主からの相談要望

グループの主張を聞いて見たい時、相談したい時は、要望する時間に行ける体制でグループは相談窓口を一本化する。

・ 保証、点検、維持管理等

グループは定期的に保守点検を行い、維持管理体制を整えているので、さらに施主より連絡が合った場合、速やかに対応する。

